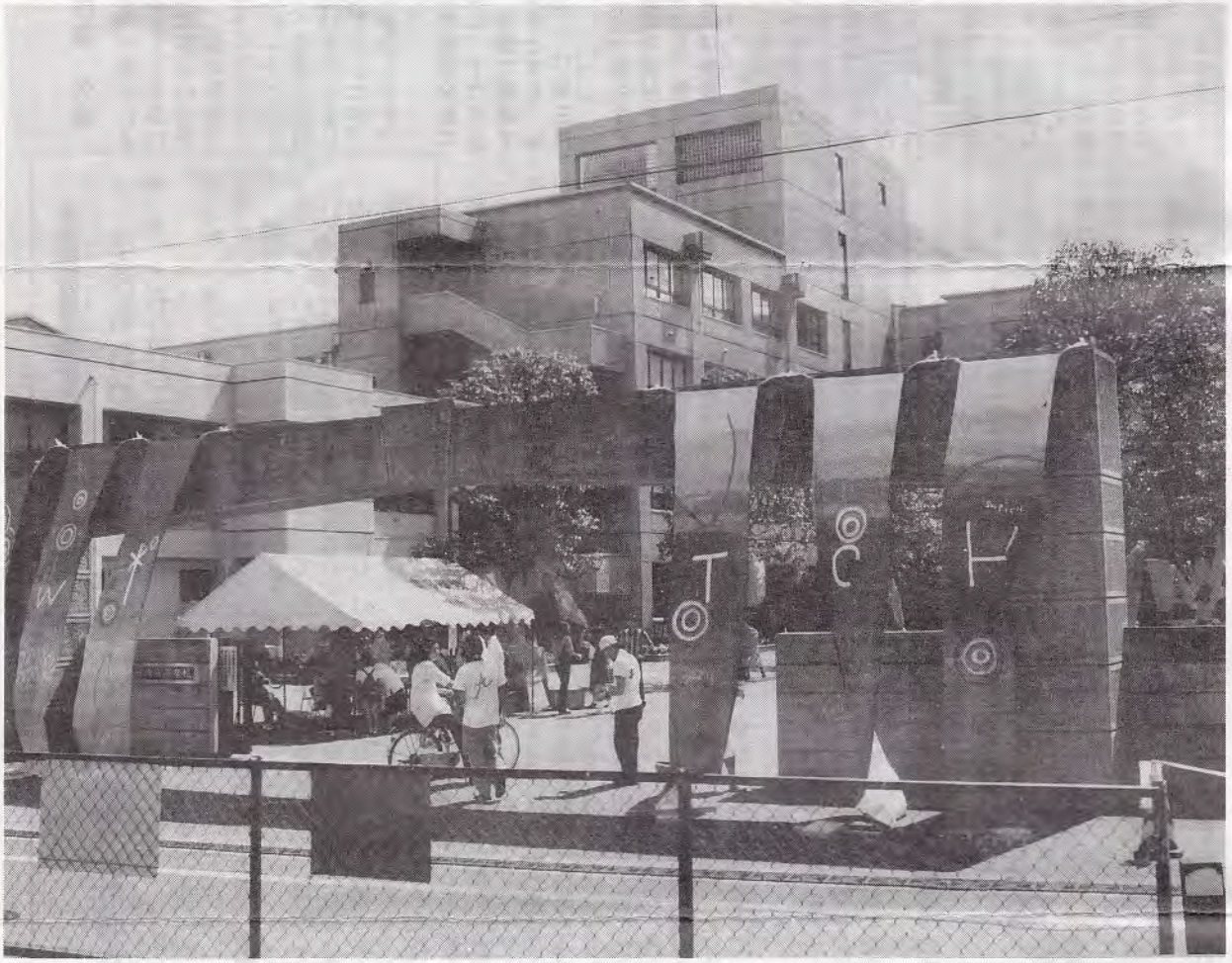
東京都立練馬高校 同窓会会報

銀杏の朋（いちょうとも）

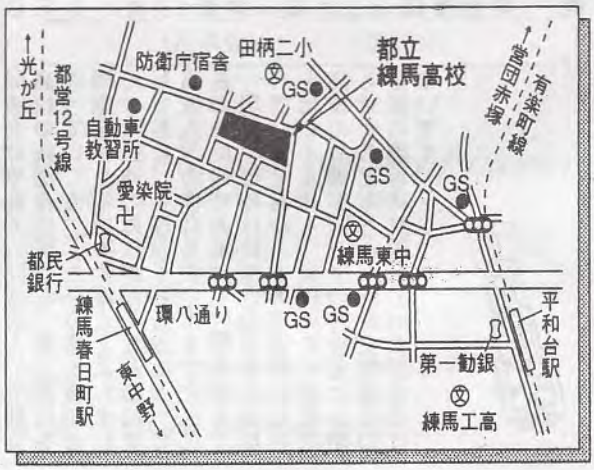
銀杏の朋　第6号
1999年9月1日発行
発行：東京都立練馬高等学校同窓会事務局
〒179-0074 練馬区春日町4－28－25
TEL 03－3990－8643
編集：銀杏会会報委員会



'99年度同窓会総会（＆懇親会）のご案内

'99年度同窓会総会を下記のとおりおこないます。
総会での意見交換、執行部への質問等はもちろん
また、クラス会、同期会等にもお役立て下さい。

日時：1999年11月13日（土）　PM 2：00～
※総会（1時間程度）が終わり次第懇親会を始めます。
場所：都立練馬高校会議室
会費：2,000円
議題：1999年度活動報告および2000年度活動方針
1998年度決算および2000年度予算の承認



レユニオン

銀杏会会長　伊藤　久雄

新秋の候、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申しあげます。また日頃は本会の活動に対しましてご理解・ご協力を賜りまして、まことに有難うございます。

一九九八年十一月八日（土）の九十八年度総会において、会報の有償化問題について話し合いを持ちました。賛成意見がほとんどでしたが、今年度の総会で結論を出します。以下をご確認ください。

「会報は卒業後十五年間は全員に無償で郵送する。ただし、十六年目以降は希望者に対し、有償で郵送する。その際の費用は実費とする。以上は第三十二回生（九十八年三月卒）より適用する。

「第一回生から第三十一回生までは会報第七号までを無償で送付する。第8号からは希望者に対し、有償で発送する。その際の費用は実費とする。」

一九八八年（昭和六三年）に会長に就任してから十一年が過ぎようとしています。会報第一号でお約束した、定期総会開催・会報発行・名簿発行は、理事の方々の協力をいただき着実に実行して参りました。これからも事情が許す限り、執行部一丸となって同窓会発展に寄与する所存ですが、会員の皆様方にも理事会への参加・情報提供・クラス会開催など、一層のご協力をお願いします。

レユニオン（同窓会）には「再結合・再統合」という意味もあります。銀杏会の活動が単なる懐古趣味ではなく、新たなレユニオンの場になればこれ以上の喜びはありません。

学校教育の不易と流行

校長　近藤　淳一

最近、また教育の「不易」と「流行」についての議論が活発になっている。教育内容は常に見直し新しい内容を取入れていかなければ停滞し、時代遅れの指導に陥ってしまう。それでは不易の部分はどうであろう。今も昔も変わらず生徒に指導すべき教育内容がある。流行に走るあまり不易が忘れがちになってはいないか。

本校は他の都立高校にさきがけ平成六年度より教育課程を「大幅選択制」に変更し、学校としての特色を打ち出した。多様な生徒の進路希望への指導が可能であると同時に、不易として指導すべき基礎基本の充実にも対応できるものです。

また、生活指導の面でも生徒に身につけて欲しい基本的態度はきちんと指導しています。落着いた学校生活を送るためには、生徒に要求すべきことは要求する。このことは今も昔も同じだと思います。

新学習指導要領の検討をはじめ約一年がたちます。教育内容について改善をはかると同時に、今まで培った本校の不易の部分も大切にしていきたいものです。

会員の皆様には、本校発展のためお力をお借りすることもあるかと存じます。宜しくお願い申し上げます。

都立高校の大規模な統廃合計画に反対して、都立高校を守ろう

九回生　小沢　直彦

同窓生の皆さんには、日頃から同窓会にご理解とご協力いただき感謝します。私は、現在、母校の隣の練馬工業高校に勤務しています。1997年より同窓会の理事として、微力ながら同窓会に参加してきました。

さて、現在、都立高校が存続の危機に陥っています。1997年（平成9年）9月11日、東京都教育委員会は「都立高校過剰時代がやってくる！」として、現在約二百校ある全日制都立高校約四分の一にあたる約五十校を廃校にして二十校程度に統合し、定時制高校も大幅に削減する「都立高校改革推進計画」を発表しました。概略は次の通りです。

◎「第一次実施計画」
平成9年9月11日　都教委発表
・全日制高校十七校・定時制高校十七校を統廃合して十一校に改変する。
・三学区では、永福高校と桜水商業高校が統廃合になる。

◎「第二次実施計画」
平成11年6月29日　都教委発表
・全日制高校二十八校・定時制高校十五校を統廃合して十八校に改変する。
・三学区では、大泉北高校と大泉学園高校が統廃合になる。

という計画です。さらに第二次計画が予定されています。

では、少子化、都財政難を理由に都立高校は要らないのでしょうか？現在は40人学級ですが、30人学級にすれば逆に都立高校は3校足りなくなるのです。イギリス、フランス、ドイツではすでに25人以下の少人数学級で編成されています。

今年の2月、永福高校の卒業生に会う機会がありました。「私たちの母校がなくなると聞いて残念です。何とかしてほしい。」と訴えてきました。同じ都立高校の卒業生として、私ができることをやっていきたいと思いました。

昨年の母校の同窓会総会で、私は都立高校が統廃合される計画があることを話しました。出席された先輩方や先生から、「統廃合は困る。都立高校を守っていこう。」との強い声があがりました。今年8月8日の同窓会理事会で『同窓会として都立高校の統廃合に反対し、都立高校を守っていこう。』という案を今年の同窓会総会に提案することにしました。「私達の母校がなくなるのは反対である、私達の子ども達にとって高校入学の機会を狭くすることになるので反対である。」が理由です。

現在、母校は統廃合の対象にはなっていませんが、その可能性はないとはいえません。母校のそして都立高校の危機を同窓生の皆さんにお知らせするとともに、同窓会理事会の提案の趣旨に賛同していただければ幸いです。

卒業生からの便り

「トルコ中央アジア文化センター」の御紹介

GEVREK
二回生　川島恵美子

新宿駅南口より徒歩二分半の所に私の属する「トルコ中央アジア文化センター」を開設して以来、二年半が過ぎました。当センターでは、英語、トルコ語、露語、中央アジア諸語（ウズベク語、カザフ語、トルクメン語、キルギス語、アゼルバイジャン語、タジク語、ウィグル語）全てネイティヴが教授する語学学校としては日本初の試みを行っています。

日本政府は旧ソ連崩壊後、中央アジア諸国との国交対策に遅れをとってしまい、つい最近JICAが、ウズベキスタンに要人第一号を送り出した次第です。中央アジアの言語は日本語に近いウラルアルタイ語族系トルコ語系列に属するため、日本人には語順が同じこともあって学び易いです。又、旧ソ連時代、虐げられた国々であったこともあり、各国共、日本との国交を強く望んでいます。当センターでは、語学教授の他、通訳翻訳、留学ホームスティの他、友好協会もあり、文化催事、音楽、料理、民族舞踊教室、他、サッカーチームもあります。新宿南口シティ銀行の真向いの七階で、年中無休で開校してますので、是非一度お立ち寄り下さい。

（TEL 03－5388－8681）
ホームページ：
WWW.mmjp.or.jp/turkey-center

会報に寄せて

十一回生　浜田　憲二

これから始まるであろう高校生活に、大きな期待と不安。すこしばかりの夢で、胸膨らましてくぐった、本校の正門。あれから早二十数年、あっという間だった気がします。

今思えば、あの時はこうすればよかった。と思うこともありますが、概楽しかった三年間であったと思っております。これも、同窓の皆様、恩師の皆様のおかげと心より感謝しております。

さて、私事ですが、大学卒業後、マツダ車の販売会社に就職した私が配属を命ぜられたのが、大泉学園のお店でありました。東京に数ある店の中で、練馬区の店であったこと。また、とかく出入りの激しいこの業界で、十八年間同じ地区で仕事させていただけたこと。さらに、八年前に同僚の紹介で結婚した家内が、偶然にも練馬高校十四回生で、当時吹奏楽部に在籍していた関係で、卒業後所属した、東京ミューズシンフォニックバンドという練馬区の市民楽団には、同窓同期生が多数いっらしゃり、今も活動をつづけています。

私は運命なんて言葉好きではないですが、ついそんな言葉を練馬高校に感じてしまうのです。

皆様のご多幸を祈念いたします。

練馬高校ありがとうって感じ！

十四回生　浜田　敦子

練馬高校を卒業して二十年も経ってしまいました。私は卒業後、看護学校へ進み看護婦とOLを経て結婚し、現在は五歳と五ケ月の二児の子育て中の専業主婦となっています。

在学中は吹奏楽部に所属し、ほとんどクラブをしに学校へ通ったというような生活を過ごしました。練習は今から思えば結構きつかったのですが当時は楽しくてしかたありませんでした。力を合わせてひとつの曲を作る楽しさや、先輩・後輩との付き合いから人間関係の築き方とか、得る物はとても多かったし、それが現在の自分の基礎になっているように思います。

卒業後も練高吹奏楽部OBが中心になり作った市民バンド、「東京ミューズシンフォニックバンド」に設立当初から参加し、現在も続けています。月2～3回の日・祭日、二人の子供と、下の子と同じ位大きな楽器を車に積んで、埼玉県の東松山から実家の大泉経由で練習に出て、日・祭日も仕事の夫より先に家に着くのは結構しんどいけれど、バンドのみんなに会えるのは楽しいし、何より家事・育児の事などすべて忘れて音楽に没頭できる時間をもてるのが最高の気分転換になります。

団員にも子育て中の人も多く、先輩ママもいるので子育て情報源でもあります。

育児や毎日の生活の煩わしさに疲れた時、「浜田さんちの奥さん」でも「香澄ちゃんのママ」でもない「あつこ」（と昔からの団員には呼ばれている）に戻れる時間は、私にはかけがえのない大事なものとなっているのです。

未来へのプレゼント

二十八回生　上石　和美

高校時代は、私にとって今、人生を歩んでいく中で最も強い土台となる三年間でした。

それは、本当に信頼できる先生方や友達に巡り会い、日々の生活が充実できたからです。また、消極的だった考え方が次第に変わっていき、学校行事にも積極的に参加することができたからです。

しかし、高校を卒業して、自分が選んだ道で挫折したときは「高校時代は楽しかった。高校時代に戻りたい」と何度も思いました。そんなとき、私を励ましてくださったのは、高校時代の先生方や友達でした。その後、高校時代にお世話になった先生方のおかげで、短大に進学する事ができ、今では、文具メーカーの開発の仕事をするほどになりました。

私事ですが、今年の十二月に結婚します。今の私は、新しい人生のスタート地点になったばかりです。好きな人と一緒に暮らすとはいえ、不安はたくさんあります。しかし、私には高校時代の楽しかった思い出が支えです。これからはこの思い出以上に楽しい人生を送っていきたいです。今考えれば、高校時代は、何が起こるか分からない、未来へのプレゼントだったのですね。

From the Teachers

懐しき練馬高等学校

第五代校長　岩田利久郎

七月十二日付で練馬高同窓会々長よりお手紙を頂きました。私は清瀬高校の教頭を七年間お世話になりました。昭和五十九年練馬高校長に補されました。退職は六十二年三月。三年間お世話になりました。その間能力に優れる小峯教頭、伊藤事務長、用務の方々に大変お世話になりました。校長としては三年間しかおられないので毎日全力で働き病気はするなと決意しました。

当時の写真を一冊にまとめてアルバムに貼ってあります。度々生物実験をし、まだあの頃低地にいたイモリやカエルを解剖し隣の女先生からどなられました。二・三回からは静かになりましたが。しかし実物教育で言われているように、文字より実物で、生物方面で立派になっているもと練馬生徒も大分活躍しております。

遠足はあの頃クラス別で私の組は荒川の土手を一日歩きまた帰校し解散。

皆々様　お元気で。

同窓生諸氏の活躍に期待する

保健体育科　板井　哲夫

36歳から42歳までの最も活力に富む七年間を新設の練馬高校に勤めさせて頂きました。当時は教育人口の急増期で毎年のように都立高校が新設されていました。集められた職員の言動には、理想とする教育の実現に立ち向う決意が窺われました。

生徒諸君にも先輩のいない学校で不安を抱きながらも新雪に鮮かなシュプールを描くように見事な歴史の出発点を刻みたい。古い伝統を持つ他校生には負けられないという挑戦者魂が無言のうちに漲っていました。

毎日の学習活動には物的に不利な条件もありましたが教師と一体になって克服しながら前進する迫力がみられました。それが校風となり伝統となって以来三十五年引き継がれているものと信じています。

私が某中学校長の時に迎え入れた理科の先生が図らずも四回生の岡田行雄さんでした。彼は生徒からも父母からも絶大な信頼と尊敬を受けていました。現在は東京都の教育の中枢で指導行政に敏腕を振っています。同じ学校で学んだ友が各界で活躍している実績が同窓生相互の自信や信頼を深めることになります。「銀杏の朋」で広く紹介し合うことを希望して同窓会の発展を祈っています。

校歌と国歌

音楽科　片岡　康

私は練馬高校に15年間在職した。当時を振り返ってみると、色々な思い出が数多く想い出されるが、一応私の担当教科の音楽にしぼって想い出をたどってみる。練馬高校は当時新設校であったので、校歌も新しく設定された。生徒達に歌ってもらうと我等練馬高等学校のところが「少しダサイヨ先生」などと遠慮なく云う生徒もいた。

私は「練馬高校が優秀な高校であるという事が世間に広まれば、そこがかえって良くなるのだから、例えば早稲田大学の、ワセダ、ワセダをみれば分るだろう、これからは皆がんばれよなどと云って、校歌を歌わせた想い出がある。とにかく、生徒達は校歌をあまり歌いたがらない。そこで生徒部の先生と相談して、全校集会のたびに歌わせることにしたが、生徒全員に心から校歌を、歌わせるのは、むずかしいなぁと実感した。ところが野球の対外試合などでは、皆、一生懸命に歌うのである。そこで想うのであるが現在の国旗・国歌問題だが、議論百出して、なかなかまとまらないが、日本は平和なのだと、つくづく思う。平和は確かに良い事だ、良いに決っている。しかしあまり平和になれすぎて、平和ボケにならないように。

私と練馬

数学科　須賀　楯夫

私が練馬高校で教え始めてから、もう30年近くにもなる。ヘルメットを被った正義感の強い生徒達もいた。特に生活指導部の先生方を困らせたようであるが、今の茶髪の生徒を見ていると、正に隔世の感がある。光陰何とやらというが、時が経つのは誠に早いもので、私も55。人生も終盤に近い今、しみじみと練馬時代が懐しい。

当時の授業を思い出すと、恥かしくて赤面の至りだが、そこは〝恐れを知らぬ若さ〟という奴で、何とか乗り切っていたようだ。先輩諸氏には御迷惑をかけたと思う。申し訳ありませんでした。放課後、他の先生方には雑務の時間だったのだろう。そんなことは気付きもせず、教室で生徒達と〝遊んだ〟。その頃は、フォークソングがブームで、教室にはギター（今のアコースティクギター）が2・3台は必ず置いてあり、誰彼となく弾いていた。そして、自然に合唱が始まった。暗くなると、連れだって、豊島園まで歩いて帰ったりもした。そういう中で生まれた連帯感は、今の子達にはない大切なものだと思う。練馬時代は、私の青春だった。本当に有難う。

お便りコーナー

以下のお便りは1998年の総会出欠ハガキから拾ったものです。この他にも多数の方より心のこもったお便りを頂いておりますが、紙面の都合により掲載できないことをお許し下さい。敬称略。
（編集者一同）

▼現在、豊多摩高校に務めています。毎回、同窓会だよりを拝見して、OB・OGの活躍ぶりをみて、うれしく思っています。今後を期待します。
社会科　山田　邦彦

▼そろそろ古希を迎える年齢になりました。毎日、散歩と尺八に専念しています。文化祭で演奏したことを思い出しながら…。同窓会のますますの発展を祈っています。
英語科　須田　弘

▼会報、何時もありがとうございます。知名の方を拝見したとき、勤務した当時のことを懐しく思い出しています。何時か、総会などにも出席しようと思いますが、今回も計画した旅行と重なり申し訳ありません。ご盛会と今後の会のますますのご発展、会長様始め、役員、会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。
三代事務長　沖山　勝彦

▼現在嘱託三年目です。葛飾区の農産高校に勤務しています。これは数少ない農業高校の一つで、これまで普通高校ばかり歩いてきた私にとって、とても新鮮で、元気にやっております。
英語科　斉藤　弘

▼「銀杏の朋」拝受。有難うございました。私事、目下フレンド幼稚園長として頑張っております。再開の機会を楽しみにしております。
社会科　三條　和男

▼相変わらず元気で頑張っております。貴会の益々の発展を心から願っています。
英語科　浦野　充

▼役員の皆さんが母校の為に努力して下さっていることに、御礼を申し上げます。「銀杏の朋」頑張って発行を続けてください。母校の発展を願っております。
理科　上原　勉

▼同窓会のご案内、ありがとうございます。残念ながら出席できませんが、私が最初に赴任した学校ですのでいつも気にかかります。定年まであと二年になりました。
数学科　渡辺　義正

▼転勤先の荻窪高校で、真面目に元気で教えています。広い校舎と、まわりの広々とした畑がなつかしいです。皆々様のご健康とご発展をお祈りします。
理科　松原　智子

▼第四子の出産を来年一月に控え、てんてこまいの毎日です。先日練高の前を通ったら、制服が変わったのを発見。「時代なんだなあ」と、少し淋しい気分になりました。
'87年卒　庭山　美穂

▼小四と小一の女の子のお母さんです。「銀杏の朋」の表紙の練高の写真をみてビックリ！　校舎が私の通っていた頃とは大違いなのですネ…!!
'80年卒　川路　貴子

▼2児の母親となり、この子たちも、私が練高で青春時代を送った様に、いや、それ以上に素晴らしい人生を歩んでいってほしいと願う今日この頃です。皆様もお元気で…。
'83年卒　岩野　和代

▼幹事の方の努力と思いやりには心から感謝しています。私は現在、整骨院院長と整体学校の講師をしています。
'74年卒　鏑木　康一

▼役員の皆様、ご苦労様。先日、卒業以来29年ぶりに、体操部の顧問の石川先生とお会いしました。まだ体育館がなくて、中庭にムシロをしいて練習した事等が、懐かしく思い出されました。
'69年卒　船越　房枝

▼いつも会報を楽しみに、なつかしく読ませていただいてます。ありがとうございます。今は、家庭、仕事（会計事務所パート）、子供の学校の役員、そして今年は、受験生（長男が来春高校受験）の母でもあり、あわただしく過ぎて行く毎日ですが、そのうち落ち着いたら、高校の方にも行ってみたいと思っています。
'75年卒　竹下　典子

▼先日、卒業してから初めて、新しくなった練高を訪ねて見ました。あまりにも変わってしまっていて…。哀しくなってしまいました。20年の歳月を感じました。
'79年卒　菊地真奈美

▼御苦労さまです。キャベツ畑の通学路、なつかしく思っています。あの畑、まだあるのでしょうか…。
'76年卒　勝田　由紀

▼お忙しい中、同窓会の仕事ご苦労様です。私は東京を離れて六年となり、昔の仲間と会う機会がなくなってしまいましたが、楽しい思い出となっております。
'79年卒　早船　聰

▼「銀杏の朋」の表紙の写真をみて、練高も立派になったなぁと感嘆しました。なかなか母校を訪れる機会に恵まれず残念ですが、私の心の中の母校＝キャベツ畑の一家屋ならぬ一校舎のイメージをこわしたくないので、青春の一ページの練高校舎を心に刻みつけていたいと思います。
'80年卒　田口　由美

▼無事に大学に入り、今ではとても有意義な生活を送っています。これも高校時代が基礎となって今があるのだと思います。そして、テニス部の部員とは今でも交流があり、自分にとって欠かす事ができない友人となりました。今後、より交流を深めていこうと思います。
'97年卒　垣内　寿文

▼寿退社し、現在女児の母です。毎日忙しくすごしている中、会報を拝見しました。懐かしい先生のコメント、近況など、楽しく読ま

お便りコーナー

せて頂ました。季節のかわり目、皆様お体大切に！

'86年卒　磯部（小幡）容子

▼八年近く勤めた大学を退職し、現在は、二才の男の子の育児におわれる毎日です。

'86年卒　田村麻佐子

▼やはり「銀杏の朋」が届くとうれしいです。毎回ありがとうございます。

'80年卒　峰村　裕美

▼会報の送付、ありがとうございます。委員の皆様のご苦労には頭が下がります。同窓会（総会）にはあいにく参加できませんが、盛会をお祈りしております。

'90年卒　棚沢利志恵

▼今は、子供二人と夫婦で幸せにくらしています。

'89年卒　森本富士湖

▼港区役所に就職して四年目になりました。

'89年卒　青木　宏史

▼同窓会だよりなつかしく拝見いたしました。役員の皆様にはお忙しい中でのご尽力ありがとうございます。現在、子育て中のため、会には参加出来ませんが、いつか母校を見たいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

'79年卒　関根　弘美

▼だんな一人、子供一人と実家のそばでのんびりくらしております。

'78年卒　吉谷由美子

▼人生をやり直し出来るとしたら、高校時代から……だな。と、思うこの頃デス。（力を抜いた、楽しめる部活動をしたい）。

'76年卒　清水　享子

▼事務局のみなさま、ご苦労さまです。同窓会のとりまとめはさぞ大変とは思いますが、これからも頑張って続けて下さい。

'75年卒　中山　俊幸

▼結婚し、埼玉県の坂戸市に在住しています。ただ今主人と十才の長女（なつみ）と長男（和樹・五才）と暮らしています。毎朝の主人と長男のお弁当作りや幼稚園の送り迎えなど、毎日忙しい日々を送っております。

'77年卒　田原　友子

▼二年程前、自転車で十分ほどの所へ転居したため、卒業以来弐十年ぶりに練高を訪れましたが、すっかり変わってしまい、少々さびしい気がしました。

'77年卒　浜地（松本）由美子

▼いつもなつかしく「銀杏の朋」を拝読しております。何もできませんが、陰ながら応援しております。これからもよろしくお願い致します。

'77年卒　島崎　一江

▼毎日元気にしています。やはり、私が三年間いた演劇部！　地区大会もそろそろなので、OB・OGそろって後輩の指導をさせてもらっています。

'98年卒　白石　昌美

▼何時もありがとうございます。予定があえば一度、総会という機会に、母校をたずねたいと思います。校舎…四階建てでしたっけ…。会報の写真、拝見していて思ったのですが…。

'75年卒　羽中田幽江

▼長男が高一になり、高校時代をなつかしく思い出します。今度ぜひ、練高にも行ってみたいです。だいぶ変わったでしょうね。役員の皆様、いろいろ大変でしょうが、これからも頑張ってください。

'73年卒　山根　薫

▼何時も会報をお送りいただき、ありがとうございます。同級生や、お世話になった先生のお名前を見つけると、とてもうれしいです。長女が高三になり、あのころの私と同じです。

'73年卒　高橋　祥子

▼熊本市（父の出身地）に両親と共に転居して10年目となりましたが、東京とも転勤により（単身赴任ではありますが）往復しており、この四月には再び熊本勤務となりました。事務局の皆様にはお世話になります。

'72年卒　赤星　朝久

▼福岡に引越して、初めて会報を送っていただきました（宛名不明者リストに入っていたらしく、友人が幹事さんに連絡してくれたそうです）。とても懐かしく会報を読ませていただきました。機会がありましたら、同期会など出席したいと思っております。ありがとうございました。

'73年卒　梯　直子

▼会報ありがとうございました。卒業して早20数年、ついこの間のことのように思いますが、子供が今、高校生で、あの頃の私達のように元気に過ごしています。若いと思っていたってやっぱりオバサンなんだ!!

'74年卒　庄山由美子

▼最近、皆と会う機会が多くなってきたということは、あの頃を思い出す余裕ができてきたということなのでしょうか。放射線状に拡がる未来と夢に希望を託したあの頃を、やはり青春というのかもしれません。皆の活躍をお祈りいたします。

'72年卒　三橋　眞弓

▼正会員の入会金のお支払いはどのようにすればいいのでしょうか？

'87年卒　増子（金井）愛子

※「いちょう会」の入会金は、卒業時に納めているので要りません。総会出席にあたっては、懇親会の会費（大体二千円程度）のみでOKです。お気軽にご参加下さい。

――担当

▼クラス会を開きたいのですが、名簿がなく、どうしていいのかわかりません。何か良い方法はないでしょうか。

'90年卒　羽石眞理子

※他にも同様のお問い合わせが有ります。同期会・クラス会などを事務局が主催する事はありませんが、開催については微力ながら援助しますので、理事会までご一報

同窓会担当より

平成十一年度 同窓会担当より

数学科　徳富　文豪

練馬高校同窓会会員の皆様には、各分野でご活躍のことと存じます。今年度、今岡先生、滝澤先生、塩沢先生、抱山先生、根本先生、片岡先生、高田先生の各先生方が練馬高校を離れ、また新たに多くの先生を迎えました。さて本校の教育課程の特色としては、生徒一人ひとりの個性や適性を伸ばすことを目標に、選択講座は七十五開講され、一年生で二時間、二年生で十三時間、三年生で十八時間と総計三十三時間の選択ができます。このことにより、自分だけの時間割を作ることができ、さらに個性に合った選択をすることで、学ぶ意欲が高められ、様々な進路にあった科目が選べます。部・同好会については、二十六の部や同好会が活動し、サッカー部（都大会地区予選決勝進出）、男子バスケット部（新人戦・関東大会地区予選3回戦進出）、女子バレーボール部（2部進出）、ブラスバンド部、天文部など多くのクラブが、頑張っています。

銀杏祭が九月二十二日（水）、二十三日（木）に行われます。ぜひ母校をご覧になり、後輩たちを励ましていただければ幸いかと存じます。

最後になりましたが同窓会の更なるご発展をお祈り申し上げます。

一九九八年度役員一覧

名誉会長	近藤　淳一	（母校校長）
会長	伊藤　久雄	（77年卒）
副会長	加藤　佳美	（79年卒）
会計	宮坂　由子	（72年卒）
書記	川島英無礼	（93年卒）
理事	川島恵美子	（68年卒）
理事	小菅　英明	（73年卒）
理事	三浦　喜雄	（75年卒）
理事	小沢　直彦	（75年卒）
理事	矢野　正弘	（77年卒）
理事	山本　圭一	（94年卒）
理事	上石　和美	（94年卒）
理事	大沼　治男	（96年卒）
理事	米山あゆみ	（96年卒）
会計監査	近藤　邦夫	（73年卒）

―担当

下さい。

▼引っ越して来て約一年。卒業して八年、当時との風景の違いに戸惑っています。昔、無かったものがあったり、有ったものが無くなっていたり。時の流れを感じています。校舎は昔のままでした。

'90年卒　森田　真未

▼今、大学の近くで一人暮らしをしてます。大学でもバドミントン部に入ってます。がんばってます。

'98年卒　杉山　星

▼私は、短大進学後、大学にも編入し、現在、日大法学部三年に在学しています。

'93年卒　岩田　涼子

▼現在、私は練馬区の保育園で非常勤保母として働いています。公立保母を目指して、何回も挑戦しましたが、今年は結果は出せませんでした。昨年は練高の先生にもお世話になり、勉強を見ていただいたりしましたが、申し訳ないと思っています。保育園の他に、子供向けの劇や表現あそびなどするところでも、いろいろと経験させてもらっています。今、自分の進むべき道、本当にやりたいことを模索中です。

'94年卒　平川　京子

寄付金御芳名

（合計　三三一、二六二円）

卒年	クラス	姓名	旧姓
67	1	岡田まゆみ	桑名
67	5	田島博士	
67	5	森下昭夫	
67	6	坂本久美	赤松
69	2	小林勝	
69	4	薬袋博	
69	6	三村光太郎	
70	3	戸谷初代	斉藤
70	4	木幡純子	
70	4	高木純一	
71	3	川原一伸	
71	6	岡部徹	
72	6	吉田文雄	
72	8	牧由利子	波間
72	8	酒井淑子	山田
73	4	藤城祐子	鈴木
73	5	小坂康之	
73	5	篠原淳一	
73	6	石毛幸子	石田
73	7	渡会敏子	渡辺
73	8	高橋祥子	大坪
73	8	寺澤久美子	重南
73	8	竹村早苗	中山
74	6	鏑木康一	
75	1	森川透	
75	7	小沢直彦	
76	1	山口節子	田村
76	1	古澤君代	長谷川
76	3	北館祐子	
77	3	八尋由佳里	瀧居
77	5	伊藤久雄	
78	1	堀尾克彦	
78	6	外由美子	小笠原
79	2	佐藤富士子	矢沢

卒年	クラス	姓名	旧姓
79	5	加藤佳美	小山
79	6	高田幸男	
79	6	森嶋正浩	
80	5	石井弘子	松沢
80	5	貫井和子	石橋
80	6	山崎靖之	
81	1	榊啓高	
81	8	岡田久仁子	内藤
83	2	善波悦子	松田
84	9	山田豊	
85	3	松田美子	
85	5	阿部充弥太	
85	5	小林恵子	問山
86	7	大崎修司	
89	7	高須謙一	
90	2	木下航一	
93	5	遠藤和彦	
95	5	林香岐	
97	4	小林由紀恵	
97	7	川崎敦	
98	1	磯邊真衣子	
98	2	奥平裕之	
旧職員		浦野充	
旧職員		沖山勝彦	
旧職員		関野憲雄	
旧職員		吉田宗茂	
旧職員		佐藤清親	
旧職員		山田邦彦	
旧職員		森杉多	
旧職員		清水芳彦	
旧職員		石井忠利	
旧職員		川端春生	三橋
旧職員		渡辺義正	
旧職員		友山登起子	
学校医		鈴木一正	
学校医		岩崎輝二	

返信ハガキを書くときのお願い

名簿委員長　矢野　正弘

名簿の管理や手順が軌道にのり始めたので昨年よりは少し楽になっています。そこでもっと楽になりたいので皆様に何点かお願いがあります。ご協力下さい。

(1) 住所変更などには必ず郵便番号を入れて下さい。調べるのに非常に多くの体力を使います。

(2) 住所変更と共に電話番号も変更になると思いますが、差障りがなければ是非書いておいて下さい。住所の変更があって電話番号の記載のないものは電話番号の欄から削除しています。

(3) 添付の振込み用紙にデータが記載されているはずですが空欄があった場合にも返信のハガキに書いてご返送下さい。

(4) 読み難いであろう漢字などにはフリガナを振っておいて下さい。

以上、よろしくお願いいたします。

同窓会クラス幹事

（一九九八年度卒業生）

組	1	2	3	4	5	6
男	鈴木佑輔 杉並区西荻北 1－2－18	伊藤美隆 練馬区高松 4－12－7	小森章弘 練馬区春日町 2－27－14	桑野賢一 中野区江古田 2－1－16	木須武史 練馬区北町 2－16－2 馬場亮 練馬区豊玉中 1－27－10	山下雄三 練馬区東大泉 5－32－6
女	人見加奈 練馬区下石神井 4－6－14－202	増田ゆう子 練馬区春日町 4－18－9	桜井みゆき 練馬区春日町 2－26－17－101	関口鮎美 練馬区貫井 4－38－2	佐久間千代子 練馬区南大泉 4－49－3	乙河内貴子 北区豊島 5－6－11－710

会計報告書

繰越金

文京信用金庫	普通預金	4,854,828
日本教育信用金庫	普通預金	814,204
現金		138,398
郵便局		626,432
合計		6,433,862

'98年度決算書

収入の部		支出の部	
前年度繰り越し	5,259,823	総会費	62,192
入会金	712,800	本部運営費	36,187
総会収入	44,000	会報発行費	1,024,427
寄付収入	331,262	雑費	630
積立金		次年度繰越金	6,433,862
(名簿準備金)	1,200,000		
利息収入	9,413		
合計	7,557,298	合計	7,557,298

会計報告について

会計　宮坂　由子

収入の部では、おかげさまで寄付金が前年度より十万円ほど増えました。

支出の部は、会報発行費の節約（十四万円）により多少、改善されました。

収支は会報発行を継続する限り、毎年六十万円ずつ減少してゆきます。九十八年度は幸いにも会員諸氏の寄付金の増加と会報費の削減により、約四十万円の減少にとどめることができましたが、収入をいかにして増やすかという事が依然として大きな課題です。

会計としましては今年末に発行される総合名簿の収益と寄付金収入に大きな期待をかけています。お願いばかりで恐縮ですが、どうか倍旧のご支援をお願いします。

なお、同封の振り込み用紙ですが、これは寄付用と名簿購入用の用紙です。これ以外の送金には使用しないでください。

東京ミューズ シンフォニックバンド 第二十回定期演奏会

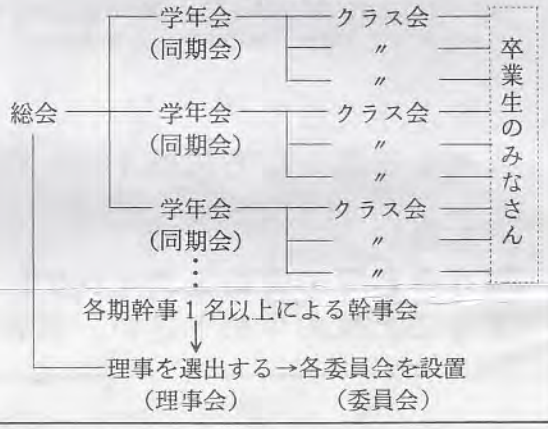
日時　二〇〇〇年四月三〇日
入場料　五〇〇円
場所　練馬文化センター大ホール
曲目　スターウォーズ他ポップスステージ

練高卒業生多数出演予定。懐かしい人に会えるかも！？

事務局より

①クラス会・同期会はどんどん自発的に開催してください。理事会ではクラス会・同期会の面倒までは見られません。
②クラス会・同期会のレポートをいただければ、会報にのせます。
③理事としてお手伝いしてくださる方、常時募集しています。ほんの少しの援助が大きな力になります。
④委員会
◎総会委員会
◎名簿委員会
◎会報委員会
◎組織委員会

同窓会組織図



事務局への連絡方法

新たに住所・連絡先が変更になりましたら、必ずご連絡ください。ただし、事務局（練馬高校内）には専従者がおりませんので、連絡はハガキまたは封書にてお願いします。電話での連絡はご遠慮ください。

連絡先：〒179-0074 練馬区春日町4-28-25 都立練馬高校同窓会事務局

名簿・総会・理事会への問い合わせ先

☆総会：総会委員　近藤邦夫　（Tel 0423-45-3022）
☆名簿：名簿委員　矢野正弘　〒179-0074 練馬区春日町5-7-9-2F（Eメール swallow@mtg.biglobe.ne.jp）
☆理事会への連絡先　三浦喜雄　〒272-0035 市川市新田3-27-15（Tel 047-379-5412）
☆問い合わせ全般　伊藤久雄　〒179-0074 練馬区春日町4-36-1（Eメール QWJ06463@nifty.ne.jp）

名簿販売のお知らせ

下記の要領で5年に一度発行される総合名簿の販売を致します。収益は同総会運営費として使います。受注数しか印刷しませんのでふるって購入して下さるようお願いいたします。

＜内容＞

沿革／会則／現職員／旧職員／99年3月卒まで全卒業生収録／氏名／旧姓／住所／電話番号／勤務先／索引（旧姓）／B5版

＜賛助広告について＞

1ページ　　￥30000
1／3ページ　￥10000
4×7.5cm　　￥3000
発行予定数　　1000部
掲載希望者は総会出欠ハガキに○をお付け下さい。
後日、こちらから詳細をお知らせします。

ブラスバンド部の
後輩がんばれ！

山田歯科医院
山田　太郎
11回生（1977年卒1組）

＜4×7.5cmの例＞

＜価格＞

￥3、980＿
（送料、消費税込み）

＜申し込み期限及び支払方法＞

99年10月29日（金）までに同封の振込取扱票にて郵便局でお支払い下さい。
その他の方法（電話、銀行振込、現金書留など）では申し込みできませんのでご注意下さい。

＜配達予定日＞

入金を確認した方には11月末より順次宅急便にて配達します。

＜お願い＞

同窓会名簿の情報をダイレクトメール、商品勧誘、宗教活動等に流用することはおやめ下さい。信頼関係を損なう恐れがありますので。

編集後記

●高校野球の暑い夏が過ぎ、九月になると、文化祭のシーズンがやって来ます。高校時代の思い出のほとんどが、文化祭でのフォーク・ソング同好会の思い出と言う私にとって、須賀先生の歌とバンジョーの演奏は素晴しく、今だに忘れられない。同窓会で又皆んなで、あの頃の様に歌えたらいいのにと思う今日この頃です。（七回生　近藤　邦夫）

●「練高」を「ねりこう」と、とっさに読めてしまう。それだけを共通点として集い、思い出話に花が咲く。正式名称「東京都立練馬高等学校同窓会・銀杏会」なんて、最初の乾杯で忘れてしまう。「練高生」に戻って昔話に花が咲く、先輩・後輩・同級生。そんな和気あいあいの懇親会。校舎も変わり、周りの風景も変わってしまったけれど、やはりそこにあるのは我々の「練高」。（九回生　三浦　喜雄）

●高校時代、小生の友人であった加々見宏一君が六月二十八日に急逝しました。四十歳でした。加々見君とは二年の時に同じクラスで、修学旅行中、行動をともにし、特に安芸の宮島の弥山に一緒に登山した事をよく覚えています。高校卒業後は疎遠になってしまいましたが、都立高校教員として働いている事は知っていました。お通夜に参列した人の数の多さ、特に生徒の数の多さに生前の彼が教師・家庭人として立派に活躍していたことが偲ばれました。慎んでご冥福をお祈りします。合掌。（十一回生　伊藤　久雄）